

今年で八十三歳になる福本さんは、今日まで二十一年間にわたり駅前付近の県道・町道を毎朝清掃されてきました。雨の日を除き、夏期は午前四時半頃から三時、冬期も午前六時から一時間半、草抜きやごみ清掃の道路の美化活動を続けています。

これまでも、のじぎく賞、このとり賞をはじめ数々の賞を受けてこられた福本さんですが、

今回の賞は、清掃ボランティア活動二十年の記念になることでしよう。
まだまだお若い福本さん、これからも頑張ってください。



表彰を受けた福本さん

栗原浄化センター竣工式

船坂地区で最初の農業集落排水処理施設が完成

平成八年度から工事が進められていた栗原の下水道整備がこの度完成し、八月二十一日(土)栗原浄化センターで関係者約40人が出席して竣工式が行われました。

設となり、船坂地区では初めての農業集落排水施設となります。

同施設は対象人口が二百六十人。1日当たりの処理能力は八十五・八m³。約四億円をかけて整備し、九月一日から使用が始まりました。



完成した栗原浄化センター

さん(苔縄)の三名が選ばれ、これを受けて八月十日(土)上郡町



厚生大臣から特別表彰を受けた藤井さん、宇治さん、寺内さん(左から)

役場において表彰状の伝達式が行われました。

宇治さん、寺内さんは十五年間、藤井さんは二十一年間にわたり民生児童委員として、住民の方に最も身近な福祉の相談役として活躍されてきました。

伝達式ではこれまでの地域福祉への貢献に対して、町長から感謝の言葉とともに表彰状が手渡されました。

21世紀の国際交流の担い手に

上郡町国際理解教育海外派遣事業を実施

八月五日から十七日にかけて、町内の中学生十五名がアメリカワシントン州に派遣されました。これに先立って、八月三日(火)役場大会議室で派遣される中学生、引率の先生方など二十名をむかえての壮行会が行われました。

前日まで、集中的に語学研修を受けた中学生の面々は、やや疲れた面持ちでしたが、アメリカでの抱負を聞かれると、「日本の文化を伝えたい」、「一生の思い出をつくりたい」などと、目を輝かせて語ってくれました。



がんばって行ってきます!

と相生市環境フェア、11月7日にはペーロン市場を同時開催しています。
☆お問い合わせ 相生市企画課 (☎23・7124)

佐用町 道の駅「宿場町ひらふく」
9月15日オープン

江戸時代の宿場町の景観を色濃く残す平福の国道373号線沿いに、道の駅「宿場町ひらふく」がオープンしました。レストランでは、こんにゃくを使った田舎定食やこんにゃくラーメン、イノシシやカモなどの鍋料理も味わえます。その他こんにゃくラーメン、あさぎり茶、もち大豆みそなどの特産品も直売します。
場所は、中国自動車道佐用インターチェンジから北へ車で5分。
☆お問い合わせ 道の駅「宿場町ひらふく」(☎0790・83・2373)

